

群馬県上野村に生息する陸産貝類について <2011～2013年の調査より>
 群馬県立自然史博物館 杉山直人

1 調査の経緯と方法

2011～2013年にかけて、自然史博物館では上野村を調査対象地とする自然史調査を実施した。この一環として陸貝の生息調査を行った。調査は、先行研究の調査地や陸貝の生息が予想される他の地点を踏査し、大型の陸産貝類を中心に資料を収集した。

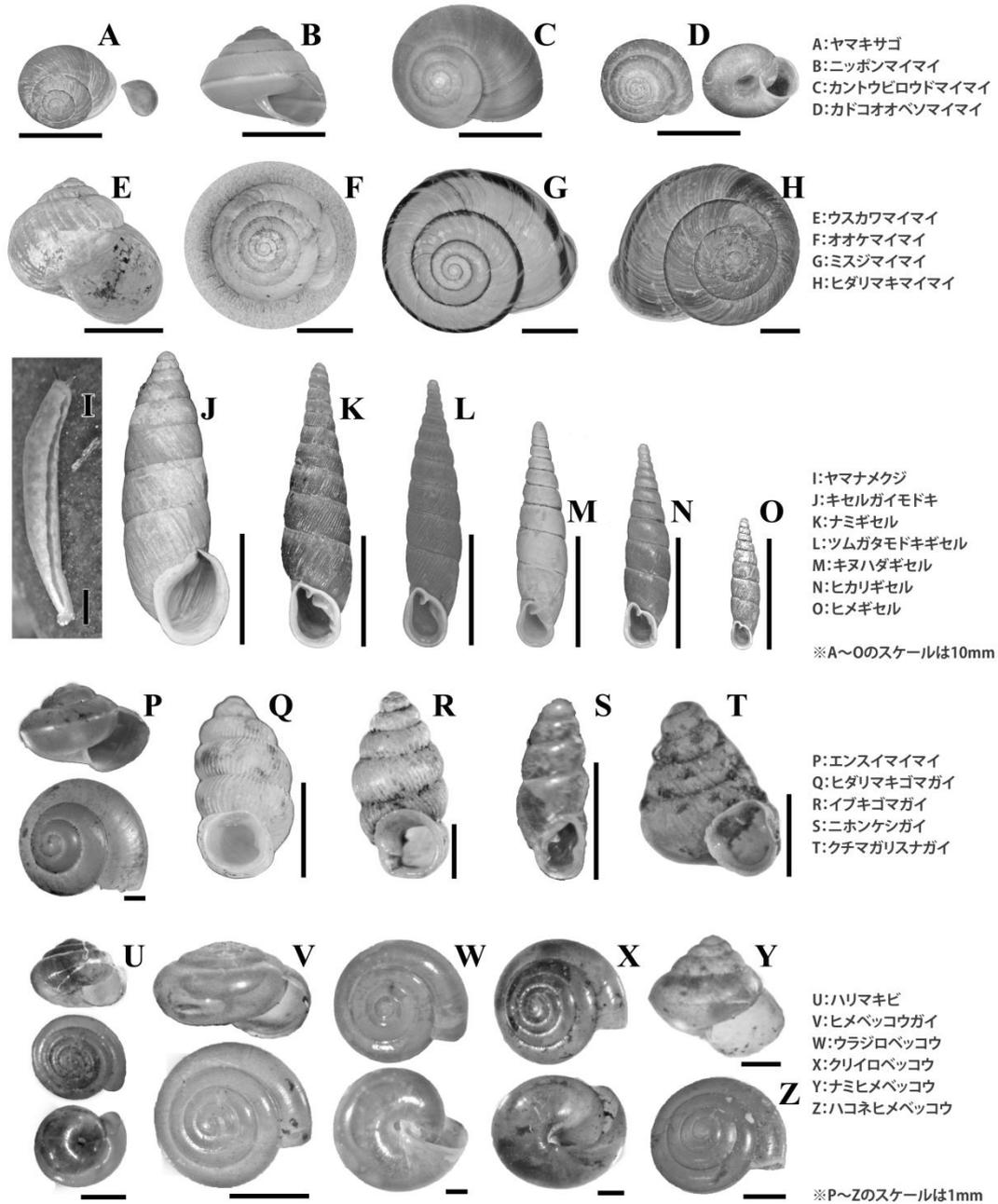


図1 本調査で生息を確認した陸産貝類(抜粋)

| 図版 | 資料名 | 科名 | 本調査 2011 2013 | 松本 1988 1999 | 高橋 1985 1990 | 群馬県・環境省 レッドデータブック2012 | 図版 | 資料名 | 科名 | 本調査 2011 2013 | 松本 1988 1999 | 高橋 1985 1990 | 群馬県・環境省 レッドデータブック2012 |
|----|--------------|-----------|---------------------|--------------------|--------------------|--------------------------|----|--------------|-----------|---------------------|--------------------|--------------------|--------------------------|
| A | ヤマキサゴ | ヤマキサゴ科 | ○ | ・ | ○ | | | ヒラベッコウガイ | ベッコウマイマイ科 | △ | ・ | ・ | 環境省情報不足 |
| | ミジンヤマタニシ | ヤマタニシ科 | ・ | ○ | ○ | | | カントウベッコウ | ベッコウマイマイ科 | ・ | ・ | ○ | 県情報不足・環境省情報不足 |
| | ハリマムシオイガイ | ムシオイガイ科 | ・ | ○ | ○ | | V | ヒメベッコウガイ | ベッコウマイマイ科 | ○ | ○ | ○ | |
| | ゴマガイ | ゴマガイ科 | ・ | ・ | ● | | | ヤクシマヒメベッコウ | ベッコウマイマイ科 | ・ | ○ | ○ | |
| R | イブキゴマガイ | ゴマガイ科 | ○ | ○ | ○ | | | ヒメベッコウ属の一種 | ベッコウマイマイ科 | ・ | ・ | ○ | |
| Q | ヒダリマキゴマガイ | ゴマガイ科 | ○ | ○ | ○ | | | キビガイ | ベッコウマイマイ科 | ・ | ○ | ○ | |
| | ホラアナゴマオカチグサ | カクシツウゴカイ科 | ・ | ○ | ・ | 県絶滅危惧Ⅰ類・環境省絶滅危惧Ⅰ類 | X | クリイロベッコウ | ベッコウマイマイ科 | ○ | ・ | ○ | 県絶滅危惧Ⅱ類・環境省情報不足 |
| S | ニホンケンガイ | ケンガイ科 | ○ | ○ | ○ | | Z | ハコネヒメベッコウ | ベッコウマイマイ科 | ○ | ○ | ○ | 環境省情報不足 |
| | スジケンガイ | ケンガイ科 | ・ | ○ | ○ | | | ハクサンベッコウ | ベッコウマイマイ科 | ・ | ・ | ○ | 環境省情報不足 |
| | ケンガイ | ケンガイ科 | ○ | ○ | ○ | 県準絶滅危惧・環境省準絶滅危惧 | | キヌツバベッコウ | ベッコウマイマイ科 | ・ | ・ | ○ | 環境省情報不足 |
| T | クチマガリスナガイ | キハサナギガイ科 | ○ | ○ | ○ | 県絶滅危惧Ⅰ類・環境省絶滅危惧Ⅱ類 | U | ハリマキビ | ベッコウマイマイ科 | ○ | ○ | ○ | |
| | マツシマクチミノガイ | クチミノガイ科 | ・ | ○ | ○ | 県絶滅危惧Ⅱ類・環境省絶滅危惧Ⅱ類 | | オオタキコキビ | ベッコウマイマイ科 | ・ | ・ | ○ | |
| | マルナタネガイ | マキノメガイ科 | ・ | ・ | ● | 県絶滅危惧Ⅰ類 | | ヒメリマキビ | ベッコウマイマイ科 | ・ | ○ | ○ | 環境省準絶滅危惧 |
| J | キセルガイモドキ | キセルガイモドキ科 | ○ | ○ | ○ | | | マルシタラガイ | ベッコウマイマイ科 | ・ | ・ | ○ | |
| | オオタキコギセル | キセルガイ科 | ・ | ・ | ● | | | ウゼンシタラガイ | ベッコウマイマイ科 | ・ | ○ | ○ | 県絶滅危惧Ⅰ類 |
| M | キヌハダギセル | キセルガイ科 | ○ | ○ | ・ | | | カサキビ | ベッコウマイマイ科 | ・ | ○ | ○ | |
| | オクガタギセル | キセルガイ科 | △ | ・ | ○ | 県絶滅危惧Ⅰ類・環境省準絶滅危惧 | | オオウエキビ | ベッコウマイマイ科 | ・ | ・ | ○ | 県情報不足・環境省情報不足 |
| | チュウゼンギセル属の一種 | キセルガイ科 | ・ | ・ | ○ | | | サドタカキビ | ベッコウマイマイ科 | | ○ | ・ | 県情報不足・環境省情報不足 |
| L | ツムガタモドキギセル | キセルガイ科 | ○ | ○ | ○ | | W | ウラジロベッコウ | ベッコウマイマイ科 | ○ | ○ | ○ | |
| K | ナミギセル | キセルガイ科 | ○ | ○ | ・ | | Y | ナミヒメベッコウ | ベッコウマイマイ科 | ○ | ・ | ・ | 県絶滅危惧Ⅰ類 |
| O | ヒメギセル | キセルガイ科 | ○ | ○ | ○ | | | カワナビロウドマイマイ | ナンバシマイマイ科 | △ | ・ | ・ | 県準絶滅危惧・環境省準絶滅危惧 |
| N | ヒカリギセル | キセルガイ科 | ○ | ・ | ・ | | C | カントウビロウドマイマイ | ナンバシマイマイ科 | ○ | ○ | ○ | 環境省準絶滅危惧 |
| | マルオカチヨウジガイ | オカチヨウジガイ科 | ・ | ○ | ・ | | B | ニッポンマイマイ | ナンバシマイマイ科 | ○ | ○ | ○ | |
| | オカチヨウジガイ | オカチヨウジガイ科 | ・ | ○ | ○ | | E | ウスカワマイマイ | オナジマイマイ科 | ○ | ○ | ● | |
| | ホソオカチヨウジガイ | オカチヨウジガイ科 | ・ | ・ | ○ | | D | カドコオオベソマイマイ | オナジマイマイ科 | ○ | ○ | ○ | 環境省準絶滅危惧 |
| | ミジンナタネガイ | ナタネガイ科 | ・ | ○ | ・ | | F | オオケマイマイ | オナジマイマイ科 | ○ | ○ | ○ | |
| | ハリマナタネガイ | ナタネガイ科 | ・ | ○ | ・ | | G | ミスジマイマイ | オナジマイマイ科 | ○ | ○ | ○ | |
| | ヒメコハクガイ | コハクガイ科 | ・ | ○ | ○ | | H | ヒダリマキマイマイ | オナジマイマイ科 | ○ | ○ | ○ | |
| | エゾコハクガイ | コハクガイ科 | ・ | ・ | ○ | | P | エンスイマイマイ | オナジマイマイ科 | ○ | ○ | ○ | |
| | ナメクジ | ナメクジ科 | ・ | ○ | ・ | | | タワラガイ | タワラガイ科 | ・ | ○ | ○ | |
| I | ヤマナメクジ | ナメクジ科 | ○ | ・ | ○ | | | | | | | | |
| | チャコウラナメクジ | コウラナメクジ科 | ・ | ○ | ・ | | | | | | | | |

「○」:生息を確認 「・」:未確認 「△」:可能性のある個体 「●」:天覧資料(1933)に掲載有り

表 上野村で生息が確認された陸産貝類(1985-2013)

2 結果と考察

・本調査では、10科26種の陸産貝類を確認した(図1・表1)。

・これまでの報告で生息が報告されていた大部分の大型種が、本調査でも確認できた。・採集標本数、採集地点共に多かったことから、オオケマイマイ、ヒダリマキマイマイ、ニッポンマイマイ、ツムガタモドキギセル、キセルガイモドキが、村内の低地を中心とする標高500~900m程度に多く生息していることが判明した。

・ヒカリギセルやナミギセル、ウスカワマイマイについては、近隣の市町村では報告があるものの、上野村ではこれまで確認されていなかった。採集地点は駐車場近くやキャンプ場といった極地的なものであるため、他の地域から人の活動に伴い資材とともに運ばれた成貝や稚貝が繁殖したものであると推測される。

・希少種としては、石灰岩地でクチマガリスナガイを多数確認した。また、県内では採集記録のごく少ないオクガタギセルは、疑わしい幼貝が1個体見つかっただけで、現在の生息を確認するには至らなかった。

・石灰岩地の洞穴に生息するホラアナゴマオカチグサなどの希少種の再確認も期待されるので、小型種向けに調査方法を工夫したうえでの追加調査が望まれる。

キーワード：群馬県・上野村・陸産貝類・レッドデータ